

Title	表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント・掲示板・編集後記・目次・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1969), 12(3): 227-231
Issue Date	1969-06-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/87164
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和44年6月20日発行 (毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第12巻 第3号

vol. 12 no. 3

物性研究

1969 | 6

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0**(ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (**a** **p** + **b**) **x** + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0**(ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (**a p** + **b**) **x** + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニ ュ ー ス

東北大学工学部（青葉山地区）の電話番号が，仙台（０２２２），大代
２２－１８００に変わりました。

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Some Applications of the Thermal Single-Determinant Approximation (T.A.Kaplan and P.N.Argyres)
- Effect of Thermodynamic Fluctuation of the Superconducting Order Parameter on the Tunneling Current (Toshio Tsuzuki)
- Equilibrium Fluctuation and Stability of the Condensate of a Degenerate Boson Fluid (A.E.Glassgold and H.Sauermann)
- Two-dimensional Indirect Exciton in Layer-type semiconductor GaSe (H.Kamimura, K.Nakao)
- Die Druckabhängigkeit des Sättigungsmomentes von Eisen bei $T=0$ (von G.Ropke)
- Nonlinear Responses in Type-II Superconductors I. Dirty Limit (K.Maki)
- Nonlinear Responses in Type-II Superconductors II. Pure Limit (K.Maki)
- Anisotropy of the Surface Impedance of superconductors in the Sheath Regime as Evidence for Fluctuations of the Order Parameter (K.Maki and G.Fischer)
- Vortex Motion in Type I Superconductors (Kazumi Maki)

ニ ュ ー ス

東北大学工学部（青葉山地区）の電話番号が，仙台（０２２２），大代
２２－１８００に変わりました。

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Some Applications of the Thermal Single-Determinant Approximation (T.A.Kaplan and P.N.Argyres)
- Effect of Thermodynamic Fluctuation of the Superconducting Order Parameter on the Tunneling Current (Toshio Tsuzuki)
- Equilibrium Fluctuation and Stability of the Condensate of a Degenerate Boson Fluid (A.E.Glassgold and H.Sauermann)
- Two-dimensional Indirect Exciton in Layer-type semiconductor GaSe (H.Kamimura, K.Nakao)
- Die Druckabhängigkeit des Sättigungsmomentes von Eisen bei $T=0$ (von G.Ropke)
- Nonlinear Responses in Type-II Superconductors I. Dirty Limit (K.Maki)
- Nonlinear Responses in Type-II Superconductors II. Pure Limit (K.Maki)
- Anisotropy of the Surface Impedance of superconductors in the Sheath Regime as Evidence for Fluctuations of the Order Parameter (K.Maki and G.Fischer)
- Vortex Motion in Type I Superconductors (Kazumi Maki)

- Effect of Order-Parameter Fluctuations on the Critical Exponent β (L.M. Levinson, M. Luban, and N. Wiser)
- Non-Unitary Bogoliubov Transformations and Extension of Wick's Theorem (R. Balian and E. Brezin)
- On the Interpretation of Measurement within the Quantum Theory (L. N. Cooper and D. Van Vechten)

掲 示 板

基研研究会公募 「液体は固体とどう違うか」

上記研究会を下記のような主旨で来る9月後半に3日間基研で開く予定です。御関心をお持ちの方の御参加を期待致します。参加御希望の方は7月31日迄に基研共同利用事務室まで、手紙又は葉書にて宿舎御希望の有無を含めて御連絡下さい。その際話題をお持ちの方はその内容を簡単にお書き下さい。予算が限られていますので、お呼び出来る方々の決定は世話人にお任せ頂きたいと思いますが、御意見・御希望がありましたら何でもお聞かせ下さい。

世話人：戸田盛和，松原武生，森 肇，松田博嗣

(主 旨)

液体の問題は統計物理学の重要な対象であるにも拘らず、最近までは理論的取扱いが困難である割に、量子流体以外は際立った実験結果に乏しいこともあって、余り活発には取上げられなかったし、統計力学の問題としてはむしろ凝縮現象が中心的テーマであった。

所が最近になって超高圧下の融点降下現象，中性子散乱による液体の集団励起運動の観測等，液体と固体との関係に重要な問題を提起するような実験が次第に行なわれるようになってきた。ここにおいて研究会を開き，このような問題に関心をもつ研究者間の相互連絡，研究情報，意見の交換等を行ないたい。さしずめ，(i) 融解現象 (ii) 液体における素励起を中心に種々討論して行きた

- Effect of Order-Parameter Fluctuations on the Critical Exponent β (L.M. Levinson, M. Luban, and N. Wiser)
- Non-Unitary Bogoliubov Transformations and Extension of Wick's Theorem (R. Balian and E. Brezin)
- On the Interpretation of Measurement within the Quantum Theory (L. N. Cooper and D. Van Vechten)

掲 示 板

基研研究会公募 「液体は固体とどう違うか」

上記研究会を下記のような主旨で来る9月後半に3日間基研で開く予定です。御関心をお持ちの方の御参加を期待致します。参加御希望の方は7月31日迄に基研共同利用事務室まで、手紙又は葉書にて宿舎御希望の有無を含めて御連絡下さい。その際話題をお持ちの方はその内容を簡単にお書き下さい。予算が限られていますので、お呼び出来る方々の決定は世話人にお任せ頂きたいと思いますが、御意見・御希望がありましたら何でもお聞かせ下さい。

世話人：戸田盛和，松原武生，森 肇，松田博嗣

(主 旨)

液体の問題は統計物理学の重要な対象であるにも拘らず、最近までは理論的取扱いが困難である割に、量子流体以外は際立った実験結果に乏しいこともあって、余り活発には取上げられなかったし、統計力学の問題としてはむしろ凝縮現象が中心的テーマであった。

所が最近になって超高圧下の融点降下現象，中性子散乱による液体の集団励起運動の観測等，液体と固体との関係に重要な問題を提起するような実験が次第に行なわれるようになってきた。ここにおいて研究会を開き，このような問題に関心をもつ研究者間の相互連絡，研究情報，意見の交換等を行ないたい。さしずめ，(i) 融解現象 (ii) 液体における素励起を中心に種々討論して行きた

い。

予算： 旅 費 30万円

校 費 10万円 (計算機使用料)^{*}

*) 計算費使用御希望の方はその旨お書き下さい。

訂 正

4月号の特集「我国に於ける物性理論の研究体制について」意味の通じにくい誤りに限りました。

頁	行	誤	正
70	↑2~3	相 産	推 薦
87	↓7	4 月	4 号
	↓11~12	科 研 層	科 研 費
90	表3, 7年目, 合計	63,790	63,690
	表3, 「地方」級号	2-3	2-4
		2-4	2-5
		2-5	2-6
99	↑11	被害者として	教育者としても

い。

予算： 旅 費 30万円

校 費 10万円 (計算機使用料)^{*}

*) 計算費使用御希望の方はその旨お書き下さい。

訂 正

4月号の特集「我国に於ける物性理論の研究体制について」意味の通じにくい誤りに限りました。

頁	行	誤	正
70	↑2~3	相 産	推 薦
87	↓7	4 月	4 号
	↓11~12	科 研 層	科 研 費
90	表3, 7年目, 合計	63,790	63,690
	表3, 「地方」級号	2-3	2-4
		2-4	2-5
		2-5	2-6
99	↑11	被害者として	教育者としても

編集後記

本誌の編集員選出方法は種々の事情で辞める人が後任を依頼して行くのが慣例であり、最近も大分メンバーが入替り、この方法による自然の成行きとしても非常に若返って来た。

一方特に編集方針を設けずに来たので、編集者も熱意に充ちてではなく義務として編集雑務をするという感が強かった。しかし最近の大学問題等で研究者のあり方が問いなおされるに及んで、編集者としての姿勢を省み、編集方針を確立して、もっと熱意をもってやれるような雑誌にしようという考えが起って来た。

これらのことが絡んで編集員選出方法が問題になり、編集方針の議論が行なわれたが、結論に達せず、とりわけ紹介すべき意見も見当らないので、この問題に関連した私見を述べさせて頂く。

表紙裏に印刷されているように本誌は「物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的」（下線は筆者）としているが、「素粒子論研究」（36, 259 ('67)）でも問題になっているように formal な論文が大部分で informal な交換が少なすぎる。これは4月号の informal meeting 報告の最後にもあるように、上記下線部分を充たし、共同で新しいものを創り出すような理想的な研究会の開催が困難な風潮と一体をなすものであり、「このせちがらい御時世に誰が idea をペラペラしゃべるものか」ということであろうが、研究者の moral を確立し、その信頼感の上に上記目的に一步でも近づく努力が必要であろう。勿論現状は私有財産制の社会を基盤とするものであり、「修身」だけで解決できる筈はない。にも拘らず現体制内では解決しえないということでこれを容認してしまってはならない。「物性研究」は矢張り informal な意見交換、学問上の相互批判の場を提供するものでありたい。また数号前からそうであるように、科学のあり方、研究体制のあり方についての議論にも大いに役立ちたい。特に物性研究者の間ではこのような議論や組織化が遅れている。徒らにセクト意識を持込むのではなく、どうあるべきかを論じ、その上で有効な力になれるような組織が必要であろう。そのため

に本誌が役立つこともよからう。しかしそれが創意溢れる学問の追及自体に優先してしまっては誤りと思う。

(T. O.)

物 性 研 究

第 12 卷 第 3 号

1969年6月20日発行

発行所	松 田 博 嗣 京 都 市 左 京 区 北 白 川 京 都 大 学 基 礎 物 理 学 研 究 所
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京 都 市 上 京 区 上 長 者 町 通 室 町 西 入 TEL (京 都) 4 4 1 - 1 6 5 9
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京 都 市 左 京 区 岡 崎 徳 成 町 11 有 限 会 社 双 美 社 内

に本誌が役立つこともよからう。しかしそれが創意溢れる学問の追及自体に優先してしまっては誤りと思う。

(T. O.)

物 性 研 究

第 12 卷 第 3 号

1969年6月20日発行

発行所	松 田 博 嗣 京 都 市 左 京 区 北 白 川 京 都 大 学 基 礎 物 理 学 研 究 所
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京 都 市 上 京 区 上 長 者 町 通 室 町 西 入 TEL (京 都) 4 4 1 - 1 6 5 9
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京 都 市 左 京 区 岡 崎 徳 成 町 11 有 限 会 社 双 美 社 内

購読規定

個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

※ 1年間の会費

1 st volume	960円
2 nd volume	960円
計	1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol.1,800円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 12-3 (6月号) 目 次

○ Magnetic な不純物がある超伝導体の order parameter の空間的变化 Ⅲ	北村 豊幸	163
○ レオロジーの幾何学的研究—I 一幾何学的方法論	池田 恵	178
○ 励起子絶縁体の励起子とプラズモン	佐々田友平	190
○ 談 話 室 研究の“自由”について	池田 恵	199
○ 資 料 第46回基研研究部員会議議事録		206
第47回基研運営委員会議事録		223
○ ニュース		227
○ プレプリント案内		227
○ 掲 示 板 基研研究会公募		228
○ 訂 正		229
○ 編 集 後 記		230

物 性 研 究 12-3 (6月号) 目 次

○ Magnetic な不純物がある超伝導体の order parameter の空間的变化 Ⅲ	北村 豊幸	163
○ レオロジーの幾何学的研究—I 一幾何学的方法論	池田 恵	178
○ 励起子絶縁体の励起子とプラズモン	佐々田友平	190
○ 談 話 室 研究の“自由”について	池田 恵	199
○ 資 料 第46回基研研究部員会議議事録		206
第47回基研運営委員会議事録		223
○ ニュース		227
○ プレプリント案内		227
○ 掲 示 板 基研研究会公募		228
○ 訂 正		229
○ 編 集 後 記		230